

不定詞は中2で「to＋動詞の原形」と覚えました。中3の課で増えるのは、その to が消える組—let / make / help です。だから×made me to study と×lets me plays が量産されます。形から入ると混乱の上塗りになるので、この授業案は意味の対比から入ります。let と make は、I語で教室の反応が反転することばです。

この教材で解決できる悩み

- ・ ×made me to study の to が、want＋人＋to を習った直後なので何度直しても戻ってくる
- ・ let / make / help をまとめて「～させる」と訳語で教えると、テストで全部同じ意味になる
- ・ 原形不定詞を単元の文法に挙げているのは6社中5社。ただし扱う動詞は教科書ごとに1～3語ずつ違い、どれもSVOCや受け身と同じ課に同居している

教材の概要

項目	内容
対象	中学3年（NEW HORIZON 3 Unit 3. SUNSHINE 3はmake、NEW CROWN 3 Lesson 2はhelp、Here We Go! 3 Unit 1はlet、BLUE SKY 3 Unit 6はSVOCとして同じ形が出ます）
文法項目	原形不定詞（let / make / help ＋ 人 ＋ 動詞の原形）
形式	授業案A4（印刷版PDF・板書例つき）
所要時間	50分×1コマ
準備物	なし（先生が「わが家のルール」を2～3文用意しておく）

授業の流れ（50分）

導入：I語ちがいの2文（12分）

先生の家のルール（いまの家でも、自分が中3だったころの家でもかまいません）を2文、続けて言います。

My parents let me play video games for two hours.
My parents made me play the piano for two hours.

1文目は「いいなあ」、2文目は「うわあ」。同じ two hours、同じ playなのに、反応が反転します。「どこが違った？」と聞くと、指は let と made のI語に行きます。そこにもう1文、

My brother helped me do my homework.

を足すと、「ゆるす・させる・手伝う」の3つが出そろいます。内容の単語はほとんど同じまま、動詞I語が文の意味の向きを決めている—それを教室の反応そのものから拾うのが、この12分の仕事です。

気づき: toが消える組 (10分)

板書は2行です。

My parents **let** me **play** games. ……ゆるす (したいことを、させてくれる)

My parents **make** me **study**. ……させる (気が進まなくても、させる)

押さえるのは3つ。①「人」のうしろは動詞の原形。to はいらないし、三単現の s もつきません—×made me to study / ×lets me plays をここで先回りして板書で消します。②直前に習った want me to study は to が要る組。「to が要る want・ask・tell、要らない let・make・help」と、組で分けて覚えます。③help は2つの中間で、「いっしょにやって助ける」。

展開: うらやましメーター (20分)

各自、実際にある自分の家のルールを、let で1文・make で1文書きます。書き出しの足場は play games / use my phone / watch videos until … / clean my room / cook dinner / go to bed by … あたりを黒板に並べておくと止まりません。家のことを書きたくない生徒には、Our school lets us … / Our school makes us … でよいと最初に言うておきます。学校のルールなら全員が持っています。

書けたら4人班で1人ずつ読み上げ。聞いた3人は「うらやまし度」を指で同時に出します—3本=うらやましい、2本=ふつう、1本=たいへんだね。ふつうは let の文に3が、make の文に1が集まります。だから、ねじれた文だけが面白い。makeなのに3本が出たら (My mother makes me cook dinner every Friday. に「料理好きだからいいなあ」)、なぜかを日本語で一言。「させる」が悪い意味とは限らないことは、先生が説明するより、ここで教室から出るのが早いです。

4巡したら、班で「いちばんうらやましいルール」を1つ選んで黒板に書きに来ます。書くのは生徒です。

まとめ: ゆるす家、させる家 (8分)

黒板に並んだ文を見て、最後に1つだけ問います。「このクラスのうらやましいルール、let と make のどっちが多かった?」。自分の2文を清書して提出。見るのは2点だけです—「人」のうしろが原形になっていること (to なし・s なし)、let と make が中身の意味と合っていること。

同じUnit 3に入っている It is …(for+人)+to や、make+人+形容詞 (SVOC) には踏み込まないでください。今日の主役は「人のうしろの動詞が原形になる」ことだけです。1日に箱は2つ入りません。また、この活動は家庭のルールを扱うので、学校ルールという逃げ道は活動の前に必ず案内しておいてください。あとから個別に言うと、その子だけが目立ちます。

定着・入試への接続

NEW HORIZON 3 のUnit 3は、want+人+to とこの形が同じ課に入っています。「to が要る組・要らない組」の仕分けは、そのまま2学期中間テスト 中3の語順問題に直結します。話す活動へ広げるなら同じ時期の道案内スキットへ。不定詞の3用法からの積み上げ全体は不定詞の教え方ガイドにまとめてあります。

